

2019.6.11

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

Press Release

**新たなアイコン・モデル、アストンマーティン DB4 GT Zagato Continuation の
第 1 号車がル・マンのサルト・サーキットでデビュー**

- 2019 ル・マン 24 時間レースで DB4 GT Zagato Continuation がデビュー
- アストンマーティン史上もっとも高価なモデルを最初に見ることができるのは、サルト・サーキットを訪れるレースファン
- DB4 GT Zagato Continuation は、ザガート生誕 100 周年の記念すべき年に、その血統を拡げるモデル



2019 年 6 月 11 日、ゲイドン(英国)/ル・マン(フランス)：

アストンマーティン DB4 GT Zagato Continuation の第 1 号車が、今週末に開催される世界でもっとも有名な耐久レース、ル・マン 24 時間でデビューを飾ります。このクルマは、2 台のモデルから構成されるアストンマーティン DBZ Century Collection (センテナリー・コレクション) の 1 台です。

サルト・サーキット内のアストンマーティン VIP ホスピタリティ・ブースでベールを脱ぐ DB4 GT Zagato Continuation は、19 台限定で生産されるこのモデルの最初の完成車であり、過酷な戦いが繰り広げられる 24 時間耐久レースの開催期間中に展示されます。



ASTON MARTIN

サーキット専用スポーツカーの DB4 GT Zagato Continuation は、2017 年に開始されて大きな成功を収めている Continuation (コンティニュエーション) プログラムの最新プロダクション・モデルであり、約 4,500 時間もの綿密かつ厳格なクラフトマンシップの集大成でもあります。

これまでの Continuation モデルと同様、DB4 GT Zagato Continuation も、英国バッキンガム州ニューポート・パグネルに本拠地を置く、アストンマーティンのヘリテージ部門で製造されています。世界中のアストンマーティン・レストア・センターの中でも最大の規模を誇り、最高の設備と経験、高度な専門知識を誇るアストンマーティン・ワークスは、100 周年を祝うプロジェクトの拠点として最適な場所です。

フランスを代表するサーキットで公開されるモデルは、アストンマーティン Continuation プロジェクトの最新作であると同時に、これまでの最高傑作として、世界でもっとも著名なイタリアのコーチビルダー兼デザインスタジオであるザガートとの 50 年以上に及ぶコラボレーションの歴史を雄弁に物語っています。

ロッソ・マハと呼ばれるレッドにペイントされた DB4 GT Zagato Continuation は、オリジナル・モデルの塗料メーカーである Max Meyer & ICI が調合したカラーを完璧に再現しています。インテリアは、オブシディアン・ブラック・レザーを基調とし、カーボンファイバー製シート、ドアカード、ヘッドライナー、リア・エリアには、すべてこのレザーが採用されています。フロアには、オブシディアン・ブラック・レザーの縁取りが施され、オブシディアン・ブラックによるマッチング・ステッチが施されたブラック・ウィルトン・カーペットが敷かれています。

このニューモデルには、DB4 GT Continuation のパワーユニットとして採用された直列 6 気筒ガソリンエンジンの 4.7 リッター・バージョンが搭載されています。最高出力は 390bhp です。このパワーは、4 速マニュアル・トランスミッションとリミテッド・スリップ・ディファレンシャルを介してリアホイールに伝達されます。

このモデルには、Continuation 仕様のインストルメントと、FIA 公認ロールケージに加え、シルバーにペイントされ、リップ部に光沢仕上げが施されたボラーニ・ホイールが標準装備されています。



ASTON MARTIN

1960 年代にサーキットでフェラーリと戦うために製作された DB4 GT Zagato は、まさにサラブレッド・マシンと呼ぶにふさわしいクルマでした。モータースポーツという過酷な環境の中で誕生し、息を呑むような美しいデザインが与えられたこのクルマは、わずか 19 台が製作されました。アストンマーティン・ワークスの比類なき知識と専門技術によって誕生した 2019 年バージョンは、1960 年代にアストンマーティンとザガートが実現したオリジナルの DB4 GT を忠実に再現するために、細心の注意を払って製作されました。

各モデルは、デイヴィッド・ブラウン卿の時代から受け継がれているクラフトマンシップ、最先端のエンジニアリングによって強化されたパフォーマンスを組み合わせ、可能な限り最高の品質で組み立てられます。

例えば、デジタル・ボディ・スキャン技術を採用することで、アストンマーティンのエンジニアが Continuation のボディを詳細に調べることが可能になっています。その一方で、DB4 GT Zagato Continuation のボディパネルは、1.2mm 厚のフラットなアルミニウムシートから製作され、60 年代当時のテクニックを再現しながら、数百時間にも及ぶ超一流のクラフトマンシップによる手作業で仕上げられます。

DB4 GT Zagato は、ショートシャーシの DB4 GT の発展進化バージョンとして登場しました。Continuation 仕様においても、サーキット走行に最適化した軽量チューブラー・フレームを薄板アルミニウム製ボディパネルで覆うという、その当時と同じ手法が採用されています。

DB4 GT Zagato Continuation は、アストンマーティン DB4 GT Continuation の最新モデルです。DB4 GT Continuation は、25 台が限定生産され、2017 年に熱狂的なコレクターの手に渡ってきました。Continuation モデルの系譜は、2020 年に登場する予定の最も野心的なモデル、Goldfinger DB5 Continuation へと受け継がれる予定です。

アストンマーティン・ラゴンダ社長兼グループ最高経営責任者(CEO)のアンディ・パーマーは、次のように述べています。「最新の Continuation モデルの開発と製造は、それだけでも偉業であり、決して過小評価してはならないと感じています。実際、私たちは、これらのニューモデルとともに新たな歴史を作っていると言っても過言ではありません。DBZ Centenary Collection を発表することで、この記念すべき年に、アストンマーティン・ブラン



ASTON MARTIN

ドとザガートの緊密かつ長期的なパートナーシップを祝福することは非常に大きな意義があります。個人的にも、このプロジェクトが、DB4 GT Zagato Continuation という形で結実したことを非常に誇りに思います。」

アストンマーティン・ワークス社長のポール・スパイアーズは、次のように述べています。「アンディと同様、DB4 GT Zagato Continuation をいう壮大なプロジェクトを実現させたチームを大変誇りに思います。DB4 GT Continuation は、前例のないレベルの成功を収めました。これらのモデルは、アストンマーティンの歴史に再び新たな息吹を吹き込むことに成功したのです。」

DBZ Century Collection の価格は、600 万ポンドです（税抜き）。最初のお客様への納車は、DB4 GT Zagato Continuation が 2019 年第 3 四半期、DBS GT Zagato が 2020 年第 4 四半期を予定しています。

※価格、デリバリー時期等の情報は、本国発表内容のため、日本とは異なる場合がございます。

DB4 GT Zagato Continuation の画像は下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-0tQ5quePTW>

###

詳しい情報は、ウェブサイト(www.astonmartin.com または www.astonmartin.com/media) から入手可能です。

ブランド・コミュニケーションチームの [Twitter](#) も開設されています。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

メディア問い合わせ先:



ASTON MARTIN

コスモ・コミュニケーションズ
アストンマーティン PR チーム
今野 博文
Tel:03-6434-5839
M:090-6180-0281
[hirofumi konno@my-z.co.jp](mailto:hirofumi_konno@my-z.co.jp)